

4. 六ヶ所再処理工場操業停止により派生するコスト — 海外返還廃棄物の受入れ困難 —

日本原燃株式会社



項目	金額	備考
返還ガラス固化体用貯蔵施設の建設費用	1,250億円	六ヶ所受入施設・貯蔵施設(2,880本分)の建設費他にデコミ費用あり
今後返還されるTRU廃棄物貯蔵施設の建設費用	700億円	AREVA分のみ の建設費(届出ベース) 他にデコミ費用あり
海外での廃棄物等の貯蔵費用		

14

5. 使用済燃料プールの満杯による原発停止に伴うコスト

日本原燃株式会社



- 定量的な影響(代替火力稼動による費用負担増)
 - ・原子力発電所運転停止による発電量の不足を、例えば火力(もともとコストが安くかつ実現性の高い)で代替して焚き増す場合の追加費用が必要。減原子力のシナリオであっても減原子力に伴う代替火力の影響に加え、さらに原発が運転停止になって代替火力が必要になってくる。そのコストが本項にいう代替火力稼動による費用負担増
 - ・なお、火力で代替することにより増加するCO2の対策費用が必要。
 - ・火力で代替しても不足する電力量については、長期的には、新規発電所を建設することも考えられるが、短期的には節電をお願いせざるを得ず、日本の経済が停滞することが考えられる。

● 定性的な影響

- ・火力燃料の国際市場での需給に影響し、代替分のみならず、火力燃料全体の調達価格が想定より高くなる可能性がある。
- ・使用済燃料の返送費用が必要。(費用規模は受入先、期間等に依存。)返送により、使用済燃料プールが満杯となる発電所については、プールの新設あるいは改造、中間貯蔵施設の立地・建設が必要。

15